

2. 房総の偉人

この人々は、千葉県が生んだ偉大な先覚者たちの中から、県がとくに選んだ17人です。（生年順による）

日 蓮（1222～1282）

安房郡天津小湊町出身。日蓮宗の開祖。立正安國論を説いた人。

菱川 師宣（不詳～1694）

安房郡鋸南町出身。浮世絵版画の創始者。

青木 昆陽（1698～1769）

山武郡九十九里町と千葉市幕張町で甘藷を試作し、その普及にも努め、大凶作を救った。

伊能 忠敬（1745～1818）

山武郡九十九里町出身18才にして佐原の伊能家を継ぐ。日本最初の実測地図を完成した人。

大原 幽学（1797～1858）

世界最初の産業信用組合をつくり、農民教育と農村改革を実践した

堀田 正睦（1810～1864）

佐倉市出身。佐倉藩主、幕末の進歩的老中として明治開花に多大の貢献をした。

佐藤 舜海（1827～1882）

香取郡小見川町出身。医家順天堂病院を創立、東大医学部前身の大東校主宰者。

西村 茂樹（1828～1902）

佐倉市出身。佐倉藩の執政。明六社をおこし進歩的文明評論で世を指導「国語辞典」「故事類苑」を編さん。

柴原 和（1832～1905）

千葉県初代県令。当時の日本三県令の一人。教育に力を入れ、千葉大学医学部の基礎をきずいた。

佐藤 志津（1851～1919）

佐倉市出身。情熱の女子教育家。東京女子美術学校初代校長。佐藤高等女子学校を設立。

坪井 玄道（1852～1922）

市川市出身。教育家。学校体育の基礎を確立した人。

石川 倉次（1858～1945）

市原市南総出身。教育家。フランスの盲人ルイブライユの考案した点字を50音式に翻案した人。

伊藤左千夫（1864～1913）

山武郡成東町出身。近代歌壇の巨匠。短歌「アララギ」の発刊を主宰。

津田 梅子（1864～1929）

女子教育の母。わが国最初の女子米国留学生となる。今日の津田塾大学を創立した。

白鳥 庫吉（1865～1942）

茂原市出身。歴史学者東大名誉教授「満州歴史地理」「朝鮮歴史地理」をあらわした。

鈴木貫太郎（1867～1948）

東葛飾郡関宿町出身。海軍大将。第2次大戦終末時の首相。

国木田独歩（1871～1908）

銚子市出身。詩人。作家自然主義文学の重鎮。「武藏野」「牛肉と馬鈴薯」等の著書あり。